

12/01<sub>金</sub>

14:00-17:00

オンライン開催

※変更しました

無料

早稲田大学マニフェスト研究所  
自治体向け DX セミナ

事例と対話で学ぶ

# 生成 AI セミナ

早稲田大学マニフェスト研究所では、DXなどの取り組み事例を通じ「どう自治体を変革・経営していくか？」を考える場として研修会を開催しています。

今回は、ChatGPTで関心が高まっている『生成AI』をテーマとして取り上げます。

自治体では将来的な職員数の減少と業務の増加が予想されることから、複数のイノベーター的な自治体がいち早く導入し、活用を進めています。

一方、多くの自治体では他自治体の動向の様子見している状況、あるいは検討してみたものの有効性がつかめないまま。その結果、庁内に広がらない、そんなケースも見聞きます。

そこで、先行して生成AI(ChatGPT)を取り入れている自治体や有識者から直接話を聞く機会を設け、学ぶ場を設けます。今回は、対話のセッションも設けました。臨場感のある対話を通じ、ぜひ学びを深めてください。

技術解説

「いまさら聞けない ChatGPT」  
～基本から応用まで、専門家に聞いてみよう！～

事例1

横須賀市  
自治体初 ChatGPT の全庁的な活用

事例2

つくば市  
産官学連携による生成 AI の活用

対話

対話で学ぶ 生成 AI 活用

日時 2023年12月1日(金)  
14:00~17:00

会場 オンライン開催のみ  
※変更しました

対象 自治体職員  
特に行政改革・情シス・デジタル  
担当などDX関連部署の方

参加費 無料

定員 会場 先着300名様

当日の詳細プログラムは裏面をご参照ください

お申し込み方法

裏面FAXかウェブサイトよりお申し込みください  
[www.waseda-manifesto.jp/generative-ai2023](http://www.waseda-manifesto.jp/generative-ai2023)

お問い合わせ先

早稲田大学マニフェスト研究所(担当:青木・西川)  
電話 03-6709-6739 メール [mani@maniken.jp](mailto:mani@maniken.jp)



オープニング

西川 裕也

早稲田大学マニフェスト研究所 招聘研究員

技術解説

「いまさら聞けないChatGPT」  
～基本から応用まで、専門家に聞いてみよう！～

佐藤 周一 氏

NTTアドバンステクノロジー(株) デジタルAI事業本部  
IAイノベーションビジネスユニット ビジネスユニット長

ChatGPT が世の中に登場して約1年。さまざまな分野で生成AIの活用が進み、各種メディアで「LLM」「プロンプトエンジニアリング」など、専門用語を目にする機会が増えてきました。文章を扱うことの多い行政の現場では、様々な部署での ChatGPT 活用が期待されます。しかし、現状では一部の先進的な自治体を使い始めたばかりであり、多くの方はまだ「よく分からない」という状況ではないでしょうか？  
そこで、長年、言語系 AI の開発に携わり、現在はこの分野でサービスを展開している専門家に話を伺います。ChatGPT について、その仕組みや特徴、活用方法、今後の見通しなど、初心者にも分かりやすく解説します。

事例 2

産官学連携による  
生成AIの活用

※登壇者変更となりました

飯塚 喜軌 氏

茨城県 つくば市  
政策イノベーション部 情報政策課 課長

「つくばスーパーサイエンスシティ構想」や「つくばイノベーションスイッチ」など、先進的なチャレンジで知られるつくば市。生成AIの活用においても、筑波大学の協力を得てChatGPTをいち早く全庁で導入。LoGoチャットと連携させてセキュリティを担保しつつ、独自機能を追加するなど、大学や研究機関と連携しながらデジタル活用を進めています。さらに、2023年8月からはPwCコンサルティング合同会社と生成AIに関する共同研究を実施中です。  
このような一連の取り組みの概要について解説して頂くと共に、対話のセッションでは、(少なくとも外部の我々から見ると)非常にスムーズに進んでいるように見える、その背景や考え方についても伺います。

総括

中村 健

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長  
熊本市 政策参与

本セミナーのクロージングとして、首長経験者であり現在は熊本市の政策参与も務める中村とともに、単なるツール活用やデジタル化に留まらず、未来に向けて自治体組織をどう変革し、経営していくか？を考えます。

挨拶

北川 正恭

早稲田大学マニフェスト研究所 顧問  
元 三重県知事

これまで県議会議員、国会議員、そして県知事を務め、日本における地方分権の流れを作ってきた北川から、今後の地域をどう変革していくべきか、参加者の皆様と共に考えます。

事例 1

自治体初  
ChatGPTの全庁的な活用

寒川 孝之 氏

神奈川県 横須賀市  
経営企画部 デジタル・ガバメント推進室 室長

昨年度のデジタル甲子園では「書かない窓口」の取り組みでベスト4入りするなど、デジタル化を積極的に進めている横須賀市。今年度は自治体初のChatGPT本格導入により、一気に注目を集めました。4月時点で全ての職員がChatGPTを利用できる環境をいち早く整備し、全庁でのトライアルを経て本格導入。そしてトライアル結果を積極的に公開することで、多くの自治体職員に知見と刺激を共有しました。さらにその後は、地元出身でTHE GUILD代表、note株式会社CXOの深津貴之氏をAI戦略アドバイザーとして迎え、「生成AI開国の地」としてさらなる活用を進めています。  
この取り組みの概要について、推進役であるデジタル・ガバメント推進室から解説して頂き、対話のセッションではその考え方や苦労話も含め、掘り下げて話を伺います。

対話

対話で学ぶ  
生成AI活用

佐藤 周一 氏

NTTアドバンステクノロジー(株)

寒川 孝之 氏

横須賀市

飯塚 喜軌 氏

つくば市

伊藤 史紀 氏

[コーディネーター] 早稲田大学マニフェスト研究所  
人材マネジメント部会 幹事

ここまで登壇した団体への質問と対話を通じ、さらに理解を深めます。「なぜ自治体ではデジタル化が進まないのか？進めるにはどうすべきか？」「デジタル化に不可欠な人材育成をどう進めるか？」「生成AIがもたらす長期的・本質的な影響は何か？」等、コーディネーターとの対話形式で進めます。また、参加者の皆さんからの質問にもこのセッションの中でお答えします。  
(※コーディネーターが代わりに質問します。質問者を指名したりしませんのでご安心ください！)  
コーディネーター紹介:製造業や宿泊業にてマネージャーを経験し2010年に独立。主に中小企業向けに経営戦略立案や人事制度構築、人材育成支援を手掛ける。2015年から地方自治体の組織変革支援に関わり始め、近年はDX化や市民協働関連のプロジェクト型支援に取り組んでいる。愛称は「伊藤ちゃん」。

早稲田大学マニフェスト研究所 FAX:03-6709-6752

FAXお申し込み

お名前

ご所属

(部署・役職)

電話番号

メールアドレス

講演者に聞きたいこと

※「講演者に聞きたいこと」欄記載の内容は、事前に講師にお伝えします。スペースが足りない場合は、ウェブからお申し込みください。  
※複数名ご参加の場合、別紙にてお送りいただいても構いません。